

道 楽

Sapporo Education and Culture Hall News

RAKU

la Pucelle

d'Orléans

Jeanne d'Arc



時代を映す少女ジャンヌ・ダルク



札幌市教育文化会館

札幌市教育文化会館情報誌「らく」は舞台芸術を気軽に楽しんでいただきたいという思いを込めて名付けられました。



時代を映す少女 ジャンヌ・ダルク

ジャンヌはわずか17歳で激動の歴史に身を投じ、19歳で火刑によって短い生涯を閉じました。片田舎の少女にすぎなかったジャンヌが剣をとって行動を起こしたのは、「フランス国王を救いに行け」という神のお告げによるものでした。

こう書くと、なんだ、伝説の話か、と思うかもしれませんが、義経伝説などの歴史上の英雄には、とかく尾ひれはひれが付きやすいもの。ですが、ジャンヌの場合は他の伝説とは少し違っています。それは、ジャンヌの生涯を明らかにするのに信頼できる、教会裁判の記録が残っていることです。

今から500年以上も昔、フランスとイギリスの国王が王

位をかけて争った百年戦争。争いの焦点であったオルレアンの町はイギリス軍に包囲され、フランス軍は敗色が始まっていた。ところが王太子シャルル7世から軍の指揮を任されたジャンヌが現れると突然風向きが変わり、追い風とともに川を遡ってイギリス軍を颯爽と追い払ってしまいます。その勢いに乗ってジャンヌは王位継承者であった王太子を戴冠させることに成功させます。ジャンヌが神の声を聴き、どう考えても無理だと思われていた戴冠に至るまで、わずか4カ月。しかしその後、ジャンヌはイギリス軍に捕えられ異端裁判の結果、火あぶりの刑に処せられてしまうのです。

この時の裁判の記録には、ジャンヌが弁護士も付けてもらえぬまま自らの弁護を行い、死と直面しながらも自分の信じる道を貫く姿が脚色なく残されています。死後、何世紀ものあいだ文学や絵画、詩、演劇、映画の世界で彼女は描かれてきました。しかしその度にロマンティックな聖者であったり、ナポレオンの時代には愛国の代表として扱われるなど時代の背景を色濃く映した存在としてジャンヌは登場します。

時を超え、時代を映す鏡として語り継がれるジャンヌ。たったひとりの少女に、現代の人はどんな姿をみるのでしょうか。

「ジャンヌ」の持つ さまざまな時代背景

国家、政治、戦争、宗教。「ジャンヌ」の世界は当時の複雑な時代背景によって織り上げられています。

百年戦争とフランスの戴冠

英仏百年戦争(1337~1453)とは、イギリス国王軍によるオルレアン包囲を争いのひとつの頂点とした戦争のこと。イギリス王家が、フランスの諸侯出身であったということ、盾に王位継承権がイギリス側にあることを主張、フランス王位の継承もかけた長い争いとなっていました。オルレアンの町はフランス王太子側であるヴァロワ政権の重要拠点であるブルジュの町の制圧も可能にする、戦争の行方を左右する地点でした。そこにジャンヌが現れ、イギリスの包囲を解くことによって戦局は大きく変化します。当時正式な王位継承はフランスの地、ノートルダム大聖堂で戴冠式を挙げたものだけに認められていたが、ランスに行くためには敵の領地を通らなければいけません。ジャンヌは恐れる王太子シャルル7世をランスまで連れて行き、戴冠を行うことで正式なフランス王が誕生したのです。

異端裁判と復権裁判

中世以降のカトリック教会において、正統な信仰に反する異端の疑いを受



けた者を裁くために設けられた裁判を「異端裁判」といいます。ジャンヌは敵国イギリス兵から不思議な力を持つ者として恐れられており、その影響力に脅威を感じた司教ジャン・コーションはジャンヌを異端裁判にかけるべく暗躍します。もし異端裁判が実現すれば、シャルル7世は異端者である魔女の助けによって戴冠したこととなり、国王の権威は地に落ちるからです。異端裁判は通常いくつかの段階に分けて行われます。ジャンヌの場合も調査や尋問を中心とする「予備審理」がまず行われましたが、ジャンヌに有利な証言は記録として残されませんでした。続く「普通審理」も慣例に反してジャンヌには弁護士がつけられず、60人も陪審員とひとり戦わなくてはなりません。この裁判の結果ジャンヌは火あぶりの刑に処せられますが、彼女の死後1456年に復権裁判が行われ、無罪が証明されます。そして1920年、ついにローマ教皇によりジャンヌ・ダルクは聖人に列聖されました。

舞台 「ジャンヌ —ノーベル賞作家が暴く圣女ジャンヌ・ダルクの真実—」

演出家
鵜山 仁

人間は、自分の都合の世界で生きていて、だいたい平均寿命の80年くらいのスパンで物事を見ていると思うんです。ですが、東日本大震災などを間接的にも体験してしまうと、世界は人間の価値観である80年どころじゃない、800年、8,000年単位で動いているということに気づかざるを得ない。そして800年、8,000年のスパンで見るとき、物事の価値観は真逆に変化することだってある。ヒーローやヒロインは、きっと自分の欲得だけじゃなく、世界や人間にとって長続きすることは何かを考えてしまった人なんです。彼らの普遍的な感覚をのぞき見してみようと思ったら、舞台というのはとても都合がいい。日々の生活とは違う目線で世界を見てみる。すると、観客の皆さんの中にも、ヒーローを持つ可能性が遺伝子のように息づいているのだと、感じてもらえるのではないのでしょうか。毎日の生活をほんの少しリニューアルする、そんな舞台にできればと思います。

英雄の遺伝子は、
すべての人の中に眠っている。

【演出家】
鵜山 仁 プロフィール
Uyama Hitoshi

演出家。奈良県大和高田市生まれ。文学座演出部所属。ウィット溢れる演出術で俳優の意外な一面を引き出す手腕と、言葉から着想される膨大なイメージをあらゆる表現・素材を使って劇空間に現出させる力に定評がある。2007年6月～2010年8月、新国立劇場の第四代演劇芸術監督を務める。



ジャンヌ —ノーベル賞作家が暴く 圣女ジャンヌ・ダルクの真実—

2013年10月9日[水] 19:00開演
札幌市教育文化会館 大ホール
全席指定: 5,500円
(教文ホールメイト・KitaraClub 会員 5,000円)

【チケット取り扱い】
教文プレイガイド tel.011-271-3355
ほか市内各プレイガイドにて発売中

【トークイベント】 USTREAMアーカイブ配信

演出家 鵜山 仁 × 俳優 伊礼 彼方
『ジャンヌ・ダルク』を劇化する。
その魅力について語る。
<http://www.ustream.tv/channel/oshaconne>



【ジャンヌと百年戦争の変遷】
1429-1431

フランスは有力な王族ブルゴーニュ公と手を組んだイギリスに連戦連敗し、領土を侵略されていった。1418年にはパリを奪われ、正当な王位継承者である王太子はロワール河の南に逃れ戴冠式を挙げられずにいた。ジャンヌの登場によって1429年にオルレアンの包囲が解かれるとランスへの道が開け、同年7月、戴冠式を行うに至った。1930年、進軍を続けたジャンヌだったがコンピエーニュの戦いでついに敵の捕虜となり、1931年、異端裁判にかけられ、火刑に処せられた。



子どものための オペレッタ



オペレッタとはイタリア語で「小さなオペラ」という意味で、オペラと同じようにセリフと踊りのある歌劇です。今年で10年10回目を迎える「子どものためのオペレッタワークショップ」。今年は新作にチャレンジします。

たのしく、おもしろく、本格的に。 10年目を迎えた 子どものための舞台。

4ヶ月のワークショップを通して、オペレッタを基礎から学ぶ「子どものためのオペレッタワークショップ」。感性豊かな子ども時代に芸術に触れ、仲間と助け合いながら作品を作り上げることや、自己表現することの楽しさを体験してもらうことを目的に平成16年からスタートしました。音楽と演技、表現、ダンス、小道具製作等の指導はすべて札幌市内のブ口の実演家・舞台関係者に依頼。本格的でありつつも子どもたちの自主性を大切にするという趣旨で運営し、今年で10年目を迎えます。

今年10周年を記念して、新作「ねずみの嫁入り」にチャレンジ。ワークショップの成果発表として、小ホールでの上演を目標としており、2014年1月に発表公演をひかえています。

これまでの参加者はのべ640人以上。年上の子は年下の子に、経験者は未経験者という10年かけてワークショップの中で織り上がった人間関係によって、子どもたちの自主的な優しさを育む場となっています。

[ワークショップ期間]

平成25年9月14日(土)～平成26年1月11日(土)

発表公演

ねずみの嫁入り

平成26年1月11日(土)

原作/楠山 正雄 台本/中津 邦仁
作曲/岩河 智子 指揮/佐藤 宏
会場/札幌市教育文化会館 小ホール

ねずみのチュー子もお年頃。両親はお婿さん探しを始めます。そこにチュー助が名乗り出ますが、チュー子の両親は、世の中で一番偉い人と結婚させると言ってチュー助を追い払います。そして出かけたのは「太陽」のところ。ところが太陽は、光を遮る「雲」の方が偉いと言い、「雲」は「風」の方が偉いと言い、チュー子をお嫁にもらってくれません。そしてたどり着いたのは、「風」を遮る「壁」のところ。しかし、その壁も「ねずみ」によって穴があけられてしまいます。その穴から出て来たのは、なんとチュー助。両親も納得し結婚式が始まり、結婚の誓いがかかわされ、チュー子はチュー助とめでたく結ばれます。

子どものためのオペレッタワークショップこれまでの発表公演 平成16年から始まり、今年で10年目を迎えました。過去の発表公演を紹介します。



『小人の靴屋』

平成16年・平成18年・平成22年・平成24年

平成16年に初演し、これまで平成18年、22年、24年と最多で演じられている「小人の靴屋」。初回は星組・月組のふた組に分かれて公演を行いました。22年の公演では町の人が沢山加わって、とても賑やかな舞台になりました。



『いなかのねずみと町のねずみ』

平成17年・平成19年

イソップ物語から飛び出してきたたかさんのかわいいねずみたちが舞台で大暴れました。いなかのねずみと町のねずみの危険を知って田舎に帰るという物語ですが、都会で忘れがちな思いやりや助け合う大切さをテーマにしました。



『青い鳥』

平成20年・平成21年・平成23年

5周年を記念してメーテルリンクの青い鳥を原作に新曲にチャレンジ。再演のたびにダンスや演技にさまざまな工夫が凝らされ、各回楽しみの多い舞台となりました。見どころは迫力満点の夜のダンスです。

SAPPORO OPERA FES 2013

札幌オペラ祭

今年で8年目を迎えるさっぽろオペラ祭。オペラを大人から子どもまで楽しんでいただける公演やワークショップを開催しています。本格的なオペラ公演からワンコインコンサートまで、もっと身近にオペラを感じてみてください。

モーツァルト作曲

「バ스티アンとバスティエヌ」

全1幕(プレ・レクチャー付き、日本語付き) 小ホール

少年モーツァルトの異色なオペラを
バレエで鑑ますか? オペラで鑑ますか?

モーツァルトの幼年時に作曲された劇作品は、この「バスティアンとバスティエヌ」を含めて4作あります。プレ・レクチャー(28日:塚田康弘・29日:海老澤敏)では、この可憐な作品の前後に作曲された2劇作品の Aria を試演で紹介し、イタリアでの栄光前の劇作品に光を当てモーツァルトのオペラを現代に蘇らせるレクチャー付き公演とします。



11月28日(木) 18:30 [バレエ公演]

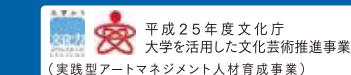
11月29日(金) 18:30 [オペラ公演]

入場料無料(要整理券)
配布場所/教文プレイガイド・北海道教育大学札幌駅前サテライト・北海道教育大学岩見沢校i-Box

北海道教育大学・実験劇場

TEL.0126-35-1400

(北海道教育大学岩見沢校i-Box)



平成25年度文化庁
大学を活用した文化芸術推進事業
(実践型アートマネジメント人材育成事業)

ルイス・キャロル原作

「不思議の国のアリス」

全2幕(日本語上演、北海道初演) 小ホール

アリスの目で見えたワンダーランドを、舞台のうえで。
北海道初公演をお見逃しなく!

たくさん子どもたちと、昔、子どもだった大人のみなさまへ。ルイス・キャロルの不朽の名作「不思議の国のアリス」を、合唱曲で大人気の作曲家・木下牧子氏がオペラ化! わかりやすい日本語と、素敵で楽しいメロディが、みなさまを「不思議の国」へご案内! 大好評の本作を、北海道二期会が本道初演します。



2003年「ヘンゼルとグレーテル」より

12月7日(土) 14:00・18:30

12月8日(日) 14:00

全席指定 A席4,000円(子ども2,500円)
B席3,500円(子ども2,000円)

北海道二期会維持会員10%割引(電話申込みのみ)

※子ども券は4歳~中学生まで
※乳幼児を伴ってのご来場はご相談ください

北海道二期会

TEL.090-6266-5313

www.hokkaido-nikikai.com/

チャマローザ作曲

「秘密の結婚」

全2幕(原語上演、字幕スーパー付き) 小ホール

初心者を超おすすめ
コメディオペラ 抱腹絶倒!!

チャマローザって誰? ドイツの文豪ゲーテも熱く賞賛した「イタリアのモーツァルト」と呼ばれた作曲家。オペラ大好きな方はもちろん初心者の方にも超おすすめのコメディオペラです。「秘密の結婚」オペラ体験後あなたは、幸福感につつまれてホールを後にするでしょう!



12月21日(土) 16:00

12月22日(日) 16:00

全席指定 S席5,000円、A席4,000円、
学生席2,000円、障害者席500円

札幌オペラスタジオ

TEL.011-685-3779

www.sos-opera.com/

500 yen もっと気軽にオペラを楽しもう!
モーニングコンサート 小ホール

オペラにもっと足を運んでいただきたい。小さなお子様連れでものびのび楽しめる音楽会をワンコインでお贈りします。

〈ママと子どものはじめての音楽会〉

ママの子育て応援!赤ちゃん連れでも大丈夫!
親子でたのしい音楽会♪

10月21日(月) 10:30開場 11:00開演

出演/札幌オペラスタジオ 全席自由 500円

※保護者同伴で0歳のお子様から入場OK

〈わくわく★おんがくのひろば〉

めずらしい楽器の音♪
見て、きいて、歌って、いっしょにたのしんじゃおう!

11月14日(木) 10:30開場 11:00開演

出演/札幌室内歌劇場 全席自由 500円

※保護者同伴で0歳のお子様から入場OK